

家族で子育て Q&A 16



Q 小学3年の息子は、上の娘とちがって何度言っても片付けができず、だらしくなくて困っています。

A 女の子に比べて男の子はゆっくり成長しますので、今は割り引いて見てあげたらどうでしょう。

「やらないでほしい」

男の子と女の子にはそれぞれ特性があり、男子脳と女子脳の違いからくるとも言われます。男子脳は論理的でマイペース、人は人、自分は自分なのですが、女子脳は共感を大切にし、空気を読み、協調性があります。

もちろん個人差はあり、女子脳に傾いている男子や、男子脳が強い女子もいますが、一般的に男の子は男子脳の特性が表われると理解すればいいでしょう。だから男の子は興味・関心のあるものには目を向けますが、そうでないことは自分の中で

すっぱり抜け落ちます。ある野球少年は、部活から帰ると夕飯も忘れてクラブとスパイクの手入れに余念がありませんが、ほかの生活場面への波及効果はなく、服はその辺に置きっぱなし。庭に花がきれいに咲いたことも気づかないのです。

伸びしろに期待

一般的に第一子が女の子だと共感性があり、モノの管理能力もありますから、第二子の男の子は「困った子ちゃん」に見えるやすいものです。この場合も、娘さんと比較して「どうしてあなたはできないの」「何度言え

ばわかるの」と叱るのは、やってはいけないことです。

片づけるときはゲーム感覚で乗せ、論ずるときは手短に言うて切り上げます。服の片づけ方も、その子にあった大雑把なやり方にするなどして工夫し、親が身を以て示しておけば、時期がくれば意外なほどしっかりしてくるものです。

面白いことはやるけれど、興味のないことはやらないのが男の子。手がかかるかもしれないが、ゆっくり成長する分、伸びしろがあると言えます。上の娘さんとまた違った子育てを楽しんでください。